

4,537,890 円÷4000(小数点以下切り捨て)×4000×0.8-440,000 円=3,188,800 円・・・(A) 控除額(扶養 760,000+特定扶養 250,000+特別障害者 400,000+基礎控除振替 100,000)=1,510,000 円・・・(B) (A)-(B)÷12=139,900 円(月収額)

住宅困窮状態(該当する番号に○印をつけてください。)

項目	No.	困 窮 理 由	項目	No.		困 窮 理 由			
	1	極度に老朽化した建物で保安上危険である 住宅に居住	間借	18 19	共益費、駐車場代は 含みません 量を借りている。				
	2	相当程度老朽化した建物に居住	別	20					
不	3	水害やがけ崩れの危険のある住宅に居住	居	21	扶養すべき親族と別ん				
良住	4	日照・通風が不良	7		月額家賃	80,000 H			
	5	衛生上不適当な月 家賃÷月収額×100		22		80%以上			
	6	応急仮設住宅又/	賃	23	月額家賃が	60%以上80%未満			
宅	7	専用の台所がない。		24	月収額の	40%以上60%未満			
	8	専用の便所がない。		25		30%以上40%未満			
	9	専用の浴室がない。	通勤	26	通勤に要する時間が往復で4時間以上				
過密住宅	10	1人当たり居住面積1畳以内	婚約	27	婚約が成立したため住宅を必要とする。				
	11	1人当たり居住面積2畳以内	処	28	競売によりやむを得ず自己の住宅を手放す こととなった。				
	12	1人当たり居住面積3畳以内	分	40					
	13	居住部屋が1部屋のため環境上不適当	そ	29	住宅困窮理由が上記以外の場合、記入してください。				
立退要求	14	公共事業の執行による立退き	0)						
	15	判決・調停条項による立退き	他						
	16	家主から立退きを求められ紛争中	の						
	17	立退きを要求されている。	事情						

- ※ No. 10~12 の計算方法は、居室部分の面積 (6 畳二間なら12 畳) を世帯人数で割って下さい。 (居室部分には、台所・便所等は含まない。)
- ※ No. 22~25 における月収額とは、申込書(表)右下欄に記載された金額のことです。

住宅状況申告書(該当項目の□にチェックをしてください。)

質問欄					申	込	者	記	入	欄				
困窮状態1~1、 に該当する方は特	京は特記入	住	居	☑借家 □公共		:同住宅 〔県営・ī	□借間 †営・	□社等		寮 [その他]親兄弟 <i>0</i> 1.(の家)	
に注意して記入		建築	年数	□ 1 ~ □21~2	•		~10年 ~30年		~15年 ~35年]16~20 ^年]36年以_			
↓ 現在の住宅状況		構	造		: T									
		階 数 虚偽の申請があった場合は 失格となります 。												
	間取	4ナノーウィチューヘー・ファンス・ナイギング サキカット・キャケ ナー ソーギー **Tかられ か し												
		面	積	不明な場合はお問い合わせください。										
	*現	在の信	i	(- 	<u> </u>	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	اد ی اد	/\ \ \	\ /c	- 0				
その他														
記入方法は 10 ページの「5 抽選における優遇制度について」をご覧ください														
抽選優遇資格申告欄 (優遇資格のあるかは該当する項目すべてに○をつけてください。)														
立退要求 日	と子ろ	(子	高齢	者家族	障	害者	高齢者	旨	DV	r	落選		その)他